



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 武志
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,881	3.2	1,364	8.3	1,842	7.5	1,276	20.1
27年3月期第2四半期	8,608	△3.3	1,260	△32.9	1,714	△23.3	1,063	△22.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 861百万円(△16.4%) 27年3月期第2四半期 1,029百万円(△64.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	16.51	—
27年3月期第2四半期	13.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	63,187	22,189	35.1
27年3月期	61,454	21,521	35.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,189百万円 27年3月期 21,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	2.50			
28年3月期(予想)			—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,665	2.1	1,117	△50.9	1,924	△37.7	1,024	△42.1	13.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	83,522,024株	27年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,223,596株	27年3月期	6,223,111株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	77,298,670株	27年3月期2Q	77,433,924株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にありましたが、一部に鈍い動きもみられました。先行きにつきましては、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。なお、当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費は、総じてみれば底堅い動きではありましたが、消費者マインドは持ち直しに足踏みがみられます。

このような状況の下、当社は所有地の効率的な活用による事業の拡大とともに、独自の企画による他施設との差別化と、営業拠点間の連携による相乗効果を図ってまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日減となる31日開催されました。6月には重賞「関東オークス」が開催され盛り上がりを見せました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、前年同四半期比1日増となる53日実施されました。ナイター競馬開催時の馬場内芝生広場における「パーベキュー広場」の実施や、ウインズ川崎開催日に合わせ「神奈川キャンピングカーフェア」などのイベントを開催したことも奏功し、本場、ウインズ川崎ともに前年を上回る入場者で賑わいを見せました。なお、来年春のオープンを予定しております商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」の建設工事は順調に進んでおります。船橋競馬は、前年同四半期比6日減となる24日開催されました。6月からはナイター競馬「ハートビートナイター」がスタートし、新たな客層の開拓に寄与しております。また、5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日に主催した恒例の「おうまフェス2015～親子であそぼ。～」では、多くのイベントを開催し好評を博しました。なお、JRAの場外発売「J-PLACE船橋」は前年同四半期同様26日実施されました。船橋オートレースは、前年同四半期比8日減となる32日開催されました。5月に恒例のGI「黒潮杯」が開催され盛り上がりを見せました。なお、施行者である千葉県及び船橋市より、本年度末をもって船橋オートレース事業を廃止するとの発表がなされております。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同四半期同様181日実施されました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬、船橋競馬、船橋オートレースとも前年と同数となる予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、昨年10月に使用を開始した耐暑性に優れた新ペントグリーンでの営業日数が増加したことや、数年来強化している外部営業の効果もあり、入場者は増加いたしました。9月にクラブハウスレストランにて開催した恒例のイベント「丘の上JAZZ2015」は、予想を上回るお客様で賑わいました。よみうりゴルフ倶楽部は、多様な自主コンペを開催したことや、特別料金営業日の設定などにより、入場者は増加いたしました。施設面では本年4月にリニューアルした女性浴室やパウダールームなどが女性プレーヤーから好評を博しております。また、クラブハウスのレストランにて、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携した恒例のディナーイベントを開催し好評をいただきました。本年開場30周年を迎える静岡よみうりカントリークラブは、30周年を記念したオープンコンペやレディースゴルフフェスタなどの企画を継続して開催し、プレーヤーから好評をいただいております。しかし、近隣ゴルフ場の割引施策の影響や、7月及び9月の台風によるキャンセルなどにより入場者は減少いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、スクラッチカードイベント「スマイルウィーク」や、「初めて割」、「女子割」などの料金施策などが好評を博しました。しかし、4月及び7月の荒天などにより入場者は減少いたしました。

遊園地部門の遊園地では、春のお花見遊園地「Dream Sakura 2015～僕らのハル!!」にはじまり、ゴールデンウィークの「全国ご当地大グルメ祭2015」、初夏のほたる観賞イベント「ほたるの宵」、夏には音楽グループGreeenプロデュースによる「よみUReeenランド」、そして秋はタツノコプロ完全プロデュースによる陽気な7体のモンスターがお客様をお迎えする「Yomiuriland Halloween」など、季節ごとに多彩なイベントを開催してまいりました。また、全天候型多目的ホール日テレらんらんホールにおいても、松竹芸能がプロデュースした、お笑い芸人によるアシカショー「アシカ笑(しょう)」や、「ポリショイ・ステージサーカス2015」などを開催し好評を博しました。また、丘の湯やよみうりゴルフ倶楽部などの周辺施設が、「ほたるの宵」と連携し関連イベントを開催することで、それぞれの顧客が相互に来場し合うなどの相乗効果を生みました。これらの結果、入場者は増加いたしました。なお、来年3月には、モノづくりが体感できる日本最大規模の新エリア「グッジョバ!!」をオープンいたします。約100億円を投じ、日本初となるスパイラルリフト型ジェットコースターや映像ゲーム機能付きボートライド、自分でデザインした車が運転できるレースゲームをはじめ、アトラクション15機種が一斉にオープンする予定となっております。夏のプールWAIは、清涼飲料水「キリンメッツ」とコラボレートしたびしょ濡れウォータゲーム「メッツスプラッシュ」や、10トンを超える水量を誇る放

水ショーとオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスブラッシュ」、例年人気のおもちゃのアヒルレースなど、エンターテインメントプールとして多数のイベントを開催し、好評を博しました。また、プール更衣室をリニューアルし、お客様により快適な環境をご提供いたしました。これらの結果、8月下旬からの低気温などの影響があったものの、入場者は増加いたしました。温浴施設「丘の湯」は、様々なイベントを開催し好評を得ましたが、4月の荒天や7月から8月の猛暑の影響もあり入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では、「ほたるの宵」と連携した恒例の「ほたるの宵 特別ディナープラン」や、季節ごとの特別メニューが好評を博しました。温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、朝風呂や、替り湯など多数のイベントを開催するなどした結果、入場者は増加いたしました。ゴルフガーデン（練習場）は、ゴールドデンウィークなどに開催したイベントが好評を博したものの9月の台風の影響などにより、入場者は減少いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、日替りのイベントをより充実させるなど、リピーター獲得に努めました。また、遊園地内でキドキド体験会の開催や「ほたるの宵」とセットになったチケットを販売するなど、遊園地との連携を強化いたしました。これらの結果、入場者は増加いたしました。昨年11月に商業施設「グランツリー武蔵小杉」内に outlets した「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、予想を上回る入場者で好調に推移いたしております。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は77億5千7百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより、8億1千9百万円（同16.2%増）、サポートサービス事業の売上高は、前年同四半期は連結内部からの大型工事があったため、12億2千2百万円（同22.8%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、88億8千1百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は13億6千4百万円（同8.3%増）、経常利益は18億4千2百万円（同7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億7千6百万円（同20.1%増）となりました。

（2）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成27年11月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,755,183	2,329,702
受取手形及び売掛金	1,350,193	958,194
たな卸資産	126,764	136,218
繰延税金資産	129,403	141,622
その他	551,270	1,031,336
貸倒引当金	△806	—
流動資産合計	5,912,009	4,597,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,526,270	19,447,075
土地	15,568,647	15,572,701
建設仮勘定	5,331,740	9,145,361
その他(純額)	1,724,159	1,737,422
有形固定資産合計	42,150,817	45,902,562
無形固定資産		
その他	95,462	94,592
無形固定資産合計	95,462	94,592
投資その他の資産		
投資有価証券	12,658,034	12,046,098
繰延税金資産	172,070	168,533
その他	465,894	378,409
投資その他の資産合計	13,295,999	12,593,042
固定資産合計	55,542,279	58,590,197
資産合計	61,454,288	63,187,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	603,905	342,611
短期借入金	1,570,000	2,710,000
未払法人税等	295,519	677,343
賞与引当金	124,885	129,513
その他	3,633,129	3,747,043
流動負債合計	6,227,439	7,606,511
固定負債		
長期借入金	6,000,000	6,000,000
繰延税金負債	2,629,533	2,393,310
退職給付に係る負債	508,497	553,516
長期預り金	24,170,146	24,060,976
その他	396,994	383,389
固定負債合計	33,705,171	33,391,192
負債合計	39,932,611	40,997,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,552	4,730,631
利益剰余金	8,176,857	9,260,115
自己株式	△2,105,258	△2,105,556
株主資本合計	16,855,182	17,938,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,667,120	4,252,848
繰延ヘッジ損益	△625	△1,502
その他の包括利益累計額合計	4,666,494	4,251,346
純資産合計	21,521,676	22,189,567
負債純資産合計	61,454,288	63,187,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,608,054	8,881,288
売上原価	6,444,192	6,547,557
売上総利益	2,163,862	2,333,731
販売費及び一般管理費	903,427	969,271
営業利益	1,260,435	1,364,459
営業外収益		
受取配当金	151,862	128,629
建設発生土受入金	270,016	276,768
その他	42,472	91,288
営業外収益合計	464,351	496,685
営業外費用		
支払利息	8,991	16,932
その他	1,362	1,426
営業外費用合計	10,354	18,359
経常利益	1,714,432	1,842,785
特別利益		
固定資産売却益	—	100,966
特別利益合計	—	100,966
特別損失		
固定資産除却損	122,557	53,001
特別損失合計	122,557	53,001
税金等調整前四半期純利益	1,591,874	1,890,750
法人税、住民税及び事業税	567,950	661,068
法人税等調整額	△39,105	△46,823
法人税等合計	528,845	614,245
四半期純利益	1,063,029	1,276,505
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,063,029	1,276,505

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,063,029	1,276,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,079	△414,271
繰延ヘッジ損益	—	△876
その他の包括利益合計	△33,079	△415,148
四半期包括利益	1,029,949	861,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,029,949	861,357
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,591,792	703,687	312,575	8,608,054	—	8,608,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,583	1,369	1,271,828	1,278,781	△1,278,781	—
計	7,597,376	705,056	1,584,404	9,886,836	△1,278,781	8,608,054
セグメント利益	1,562,028	427,805	122,752	2,112,585	△852,150	1,260,435

(注) 1. セグメント利益の調整額△852,150千円には、セグメント間取引消去△36,125千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△816,025千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,754,972	817,304	309,012	8,881,288	—	8,881,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,867	1,800	913,763	918,430	△918,430	—
計	7,757,839	819,104	1,222,775	9,799,719	△918,430	8,881,288
セグメント利益	1,631,799	522,961	93,346	2,248,106	△883,647	1,364,459

(注) 1. セグメント利益の調整額△883,647千円には、セグメント間取引消去2,639千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△886,286千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。